ほんのいっぷく

発行元
網代園
八王子市
横山町10-14
042(643)0333
日本茶インストラクター
茶育指導士
網代邦子

5月の店休日
1, 8, 15, 22, 29
(毎週土曜日)
営業時間
9:30～19:00
(日, 祝
9:30～18:00)

Facebook

Instagram

新茶ぞくぞく入荷しています

例年になく芽伸びが早く、新茶が入荷し始めました。4月25日現在、静岡産4種、鹿児島産1種を販売中。昨年はコロナ禍で中止された静岡茶市場の初取引も、史上最も早い4月14日に無事開催されました。あまり早い開催ですと、初取引に品物が上場されず、寂しい取引になるのですが、今年は、入荷量もまずまずで、ほっとしております。

なお、入荷次第の販売になりますので、5月半ばまでは、品質に少し差が出るかもしれません。よりよい商品を、日々探しておりますので、お試しください。

山間地のお茶はおいしい？

昔から山間地のお茶はおいしいといわれ、銘茶の産地には川沿いで朝晩、霧がかかる処が多いようです。ではなぜ山間地のお茶がおいしいのでしょうか。

平地と比べると日照時間が短く、昼と夜の温度差が激しいため、新芽の成長が遅く、摘み取る時期が遅れます。しかし、茶芽がゆっくりと生育して、苦み・渋みが控えめで、旨み・甘みが多いお茶になるのです。また、『山の香り』があるのも特徴です。(『日本茶のすべてがわかる本』より)

新茶といえば、早いのが醍醐味のように思われがちですが、平地の味の濃いお茶と、山間地の香りのよいお茶をブレンドするようにしていますので、同じ値段でも、時期によって品質に差がでてしまうのです。

ご先祖様《十五》

昭和30～40年代、甲州街道沿いには、次々と大型店舗が出店し、にぎやかになりました。特に、伊勢丹、大丸、長崎屋、西武が揃ったころが一番だったでしょう。大丸では、日曜日に歌謡ショーが行われ、当時、売り出し始めのキャンディーズやピンクレディーなども来店していました。甲州街道が多摩地区初めての歩行者天国になったのもこのころです。

八王子は、多摩地域のみならず、山梨県からの来街者も多く、店にも多くのお客様にお運びいただきました。

60才以上の方には懐かしい話ですね。その大型店舗も、昭和50年ごろから次々撤退し、寂しい街並みになってしまいました

編集後記

最近、夜に少しばかり出歩く生活になりました。晴れている日が多いので、お月様を眺めるのが楽しみです。3度目の緊急事態宣言となり、先の見えない日が続きますが、みなさまにおかれましては、なにかほっとするひとときを見つけられますよう願ってやみません。どうぞご自愛くださいますように。

古茶の楽しみ

新茶は青々しさを楽しんでいただけますが、古茶には、安定したおいしさがあります。特に、保存方法が年々進化しておりますので、安心してお楽しみいただけます。

『どっちのお茶にする？』この時期ならではの通の楽しみですね。